

# AJSAA トラブル対応マニュアル

## 大会中のトラブルについて

自動車競技において事故・車両トラブルは避けられません。万一の際に速やかに正しい対応ができるように本マニュアルをご確認ください。

### 1. 車両トラブル

(受け持ち区域内で競技車両がコース内で止まってしまった場合)

ポスト長は即座に本部へ連絡してください。(ポスト〇、何号車、トラブル内容)

**赤旗の提示については、競技長が指示しますので、絶対に個人の判断で提示しないでください。**ただし転倒など即座に競技を中断し救助を行う必要がある場合や、選手・オフィシャルの人体・生命が危険な状況に陥る可能性がある場合を除きます。

ドライバーからリタイアの意思表示(ハザードランプの点灯、下車)があった場合、まずは赤旗を掲示し後続車両を止め、走行車両がないことを確認したのち停止車両に近づき、車両およびドライバーの状態を確認し、トラブル内容を本部へ知らせます。車両の状況を聞き、自走が困難と判断したら本部へ救急車両の派遣を要請してください。自走に支障がなければコース外へ移動させてください。

(競技車が自走不可能な場合)

牽引を行います。

レスキューカーと競技車を牽引ロープでつなぎ、安全にコース外へ出してください。

- ・ その際にあまり牽引ロープに急激な負荷をかけないよう、慎重に運転すること。
- ・ 出来るだけ競技車両の前側に牽引ロープをかけること。

その後、パドックまで牽引をお願いします。

(火災を起こした車両への対処)

エンジンルームから煙が出ているなど、火災の危険がある時は消火器を持って車両に近づき、様子を本部へ知らせてください。明らかに火の手が上がり消火作業を要する場合は、即座に消火に取り掛かって下さい。ただし、このとき内部から部品が飛散してくる恐れや、炎が噴出する恐れがあるため、**絶対にボンネットを開けないこと。**

#### (転倒車両への対処)

受け持ち区域で競技車両が転倒した場合、**直ちに赤旗を提示し後続車両を停止させると共に本部へ連絡して下さい(ポスト〇、何号車、トラブル内容)**。車両の転倒があった場合についてのみ、コースオフィシャルは競技長の指示を待たずに赤旗を提示する事が出来ます。走行車両がないことを確認し、転倒車両へ近づいてください。

ドライバーの安否を確認し、次にエンジン・キルスイッチを切ったか、サイドブレーキを引いてあるかどうかを確認してください。次に周囲の安全を確認して、車を起こします。起こす時は損傷側から起こします。**基本的にドライバーの脱出は車両を起こしてからで、それまではシートベルトを締めたままにさせる。**転倒が180度、ドアが開く、シートベルトを外してもドライバーが落下しない、をすべて満たす場合のみ、先に降りることも考慮する。**車両を起こす場合は、作業者が押しつぶされないように十分注意すること。**車両を起こす際は反対側には絶対に人がいないこと。**ガラスの破片等に気を付け、必ず軍手かワークグローブを着用すること。****転倒車が一回転して元に戻り自走可能な場合も必ず車両を止めてください。絶対に自走で帰さないこと。**自走で走り始めたら必ず止めてください。

#### (担当区域でないポストでトラブルが生じたら)

このとき車両の撤去、コース清掃のために、トラブルが発生したポストへ向かってもらう場合があります。その指示は競技長が出しますので、必要な備品を用意して待機してください。

受け持ち区域に異常が無くなり、全員がポストについたら緑旗を提示して下さい。

## 2. コースコンディションの管理

随時コース内の担当区域内を監視し、安全と公平さを確保してください。すべての選手が平等にイコールコンディションで走行出来るようにするためです。

#### (部品の脱落)

競技車両から何らかの部品の脱落が見られた場合、競技長へ報告し、走行が一時中止され安全が確認できたら、コース内へ入り回収してください。

#### (オイル漏れへの対処)

競技車両からオイル漏れが認められた場合、即座に競技長へ報告し、その指示に従って清掃作業に取り掛かってください。

### **3. そのほか**

オフィシャルや、コース、競技車両に何か異常があれば、すぐに競技長へ報告し、指示を仰ぐこと。特別規則に規定されている通り、コースオフィシャルへの抗議は一切認めていません。運営を行っている際に、抗議に応じる必要は一切ありません。そのようなことがあった場合は、本部へ申し出るように伝えてください。